

2024年5月14日

各位

会社名 日本信号株式会社
代表者名 代表取締役社長 塚本 英彦
(コード番号: 6741 東証プライム)
問合せ先 総務部長 藤本 浩正
(TEL: 代表 03-3217-7200)

中期経営計画「Realize-EV100」策定並びに
「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関するお知らせ

日本信号株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:塚本英彦)は、設立100周年に向けて中期経営計画「Realize-EV100」(2024~2028年度)を策定いたしましたのでお知らせいたします。

本計画の策定にあたり「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」についても目標値を設定しております。

記

1. 中期経営計画の概要

「Realize-EV100」では、日本信号グループの変わらない価値観としてのグループ理念を守りつつ、外部環境の変化を踏まえ、設立100周年となる2028年をターゲットに「新事業・新商材のNext Stage」、「国際事業のNext Stage」、「ものづくりのNext Stage」、この3つのRealize(実現)に取り組むと共に、サステナブルな成長に向けESG経営を推進いたします。

- (1) 新事業・新商材のNext Stage
DXによる新ビジネス、省力化商材、脱炭素ソリューション
- (2) 国際事業のNext Stage
インド・アフリカ・台湾市場の拡大、収益力の向上、現地力の強化
- (3) ものづくりのNext Stage
設計・ものづくり効率化、ソフトウェア人材強化、グループ全体効率の最適化

2. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

- (1) 剰余金の配当等の決定に関する方針
今般、配当に関する基本方針を変更し、原則として、連結配当性向30%以上、下限指標DOE 2.0%を当面の目標とすることと定め、利益に応じた増配を本日発表しております。
(剰余金の配当に関するお知らせ 参照)
- (2) 資本・財務戦略
財務健全性を確保しつつ、成長投資と株主の利益還元をバランスよく実施いたします。
- (3) PBR、ROICの向上
損益面および資本面の双方から改善を進め、PBR、ROICの向上を図ります。
 - ・PBR 1.0倍以上の実現に向けた指標として、ROE 10.0%*以上を計画いたします。
 - ・想定WACC 6.0%に対し、ROIC 9.0%*以上を目標といたします。(※中期経営計画最終年度の目標値)
- (4) 政策保有株式の縮減
事業上の協力関係などの必要性を勘案し、引き続き縮減を進めてまいります。

以上